



避難生活の質向上！ トラックは県内2例目・水循環型シャワー導入数全国最多 トイレトラック及び水循環型シャワーお披露目式を開催(10/16)

龍ケ崎市では、災害発生時に生活用水の確保が難しい避難所の衛生環境の改善を目的に、「水循環型シャワー」8台と「トイレトラック」1台を導入し、お披露目式を令和7年10月16日(木)に開催します。

なお、お披露目式の前には、「トイレトラック」の購入先である(一社)助けあいジャパンが取り組む「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」※に加入する協定締結式も開催します。

それぞれの資機材は、災害など非常時の活用以外でも、地区主催の防災訓練時などに展示・出展で、市民自らの備えの重要性をはじめ、地域での防災や市役所など行政との連携の啓発活動にも活用していきます。

【導入する資機材の概要】

■「水循環型シャワー」(WOTA 株式会社製)

導入数:8台<基礎自治体では全国最多>(メーカー調べ)

上下水道に依存せず、使用した水の98%以上を再生して循環利用することを可能にするポータブル水再生システム。シャワーキットと組み合わせることで、100Lの水で約100人が入浴できる水循環型シャワーとして使用できます。水循環型シャワーは2人作業の場合、約15分で設置可能で、地震や風水害などの発災時にもすぐに使うことができます。



■「トイレトラック」 導入数:1台 <茨城県内2例目> (市防災安全課調べ)

車両に水洗式トイレ設備を搭載した移動式トイレです。汚水タンクや給水装置を備え、快適で衛生的に利用可能。災害時に上下水道が利用できない場合や、水回りの整備が難しい場所で活躍します。また、市民の皆さまに親しみを持っていただけるよう、外装には本市ゆかりの名産や名所のデザインを施しています。



※「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」【全国38自治体で構成(令和7年9月末現在)】

トイレトラックやトイレトレーラーを保有する自治体が被災した場合に受援、応援の関係性で助け合い、スケールメリットを生かしながら、被災地のトイレ問題を解消する取り組み

- | | |
|------|--|
| ■日 時 | 令和7年10月16日(木) 午前10時30分から正午まで(荒天中止) |
| ■式概要 | ○午前10時30分から10時50分まで 龍ケ崎市役所本庁舎3階 庁議室
・「災害時におけるトイレトラック派遣協力に関する協定」締結式
(一社)助けあいジャパン 代表理事 石川 淳哉様、龍ケ崎市長 萩原勇
○午前11時から正午まで 龍ケ崎市役所南側駐車場 バス車庫前
・「トイレトラック及び水循環型シャワーお披露目式」、活用体験会
(水循環型シャワー購入先)ソフトバンク株式会社
(トイレトラック購入先)(一社)助けあいジャパン 代表理事: 石川 淳哉様
龍ケ崎市 市長 萩原勇、副市長 木村博貴 |
| ■場 所 | 別添案内図参照 |
| ■資 料 | ・お披露目式次第・会場案内図 |

担当課	龍ケ崎市 総務部 防災安全課 防災対策グループ 担当者:鈴木・鴻巣(すずき・こうのす) 連絡先:0297-60-1514(直通)
-----	---